

10代のための本棚

てい〜んず情報誌Vol.40

墨田区立図書館

2022年7月発行

<http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex>

読書感想文を書こう!

第68回青少年読書感想文全国コンクール

今年の課題図書

《中学生の部》

- ◆セカイを科学せよ! 安田夏菜/著 講談社
- ◆海を見た日 M.G.ヘネシー/作 鈴木出版
- ◆江戸のジャーナリスト葛飾北斎 千野鏡子/著 国土社

《高等学校の部》

- ◆その扉をたたく音 瀬尾まいこ/著 集英社
- ◆建築家になりたい君へ 隈研吾/著 河出書房新社
- ◆クジラの骨と僕らの未来 中村玄/著 理論社

昨年の受賞者が読んだ図書

内閣総理大臣賞

《中学校の部》 牧野富太郎 清水洋美/文 里美和彦/絵 汐文社

《高等学校の部》 水を縫う 寺次はるな/著 集英社

文部科学大臣賞

《中学校の部》 春や春 森谷明子/著 光文社

《高等学校の部》 わたしはマララ マララ・ユスフザイ/著

クリスティーナ・ラム/著 学研パブリッシング

中学生・高校生のためのPOPコンテスト

図書館でいう「POP(ポップ)」とは、オススメしたい本を紹介するためのカードのことです。墨田区立図書館では、毎年中学生・高校生を対象とした「POPコンテスト」を開催しています。大好きな本をみんなに紹介してみませんか。

対象 墨田区内在住・在学の中学生・高校生

応募締切 令和4年9月9日(金)必着



よみもの部門

小説やノンフィクションなど自分の好きな本を、同年代(中学生・高校生)のみんなに紹介しよう!

絵本部門

小さいころに読んで心に残っている絵本を、これから本を読み始める子どもたち(5才から小学校低学年ぐらい)に紹介しよう!

✿POP作成に役立つ本✿

タイトル	著者名	出版社
プロが教える現場で役立つ手書きPOP	さとだてゆめこ/著	日貿出版社
POP1年生ー“センス”がなくてもPOPは書ける!ー	山口茂/著	ずばる舎
12色の色鉛筆で描くちいさなイラスト手習い帖	Atelier RiLi/著	インプレス
4色ボールペンでかんたん!かわいい手帳イラスト	lgloo*dining*/著	河出書房新社
やさしいコピック入門ーコピックチャオ20色あればなんでも描ける!!ー	すーこ/著	ホビージャパン
イラスト、漫画のための配色教室	松岡伸治/著	エムティエヌコーポレーション
実用手描文字	姉崎正広/編著	青幻舎
文字のデザイナーターゲットから発想するー	デザインノート編集部/編	誠文堂新光社

各部門
一人一点ずつ
応募可

応募の決まり、注意事項等は、ポスター・ちらし又は墨田区立図書館ホームページでご確認ください。





生きのびるための「失敗」入門

雨宮処凛／著 河出書房新社 2022.1

誰でも失敗はする。おとなが自分の「挫折」「失敗」「弱さ」について語った話を集めた本です。今まで自分にも他人にも厳しくなりすぎていたなと気付かされ、心が軽くなります。もっと失敗をオープンに語り合えたら、しょうがないねと笑いあえたら素敵ですね。



縄文人も恋をする!?

山田康弘／著 ビジネス社 2022.4

近頃「縄文ブーム」だそうです。お店やwebで縄文グッズを目にしたことはありませんか?この本は縄文土器の話から始まり、縄文人の生活までわかりやすく書かれています。この本を読んで縄文時代に思いを巡らせてはいかがでしょうか。



なぜ地球は人間が住める星になったのか?

山賀進／著 筑摩書房 2022.3

地球はどのようにして生まれ、生命に適した環境になり、多くの生命が栄えたのか気になったことはありませんか?ぜひこの機会に読んでみてはいかがでしょうか。図も載っているので読みやすくなっています。この一冊を読んだ後は地球の捉え方も変わって見えるかもしれません。



となりのハトー身近な生きものの知られざる世界ー

柴田佳秀／著 山と溪谷社 2022.4

ハトがハト胸である理由は?高層マンションのベランダに巣を作る理由は?砂肝の意外な真実とは?伝書バトがスパイに!?50億羽のリョコウバトが絶滅した理由は?ハトはおいしいの?読み終わる頃には、ハトが気になって仕方ないかも?



蛍と月の真ん中で

河邊徹／著 ボブラ社 2021.10

写真家を志す大学生の匠海は、上京先で厳しい現実を目の当たりにする。作品は評価されず、バイトに追われ、SNSには楽しそうな友人の姿。全てを失った匠海は、亡き父が愛した蛍の名所、辰野を訪れる。そこには様々な人が暮らしていて…。疲れた心を包み込む、優しさと癒しの物語。



あしたへの翼ーおばあちゃんを介護したわたしの春ー

中島信子／著 汐文社 2022.1

父、母、姉と4人で暮らす理夢。火事で自宅に住めなくなった祖母と一緒に暮らしはじめます。しかし祖母の認知症の症状が進み、泥棒の疑いがかけられた母が姉と家を出てしまいます。ーヤングケアラーの問題を子供の視点から描いています。



階段ランナー

吉野万理子／著 徳間書店 2022.1

退職した教師、高桑のブログ『階段おじさん』を知った高2の広夢と瑠衣。階段の魅力に引き付けられ、ついに『JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会』へ参加することが決まる。大会へ向け準備をする中で、それぞれが抱える悩みに、かすかな希望の光が見えてくる。



ある日、僕が死にました

イグヨンヘ／著 小笠原藤子／訳 KADOKAWA 2022.4

「ある日、僕が死にました。僕の死は何を意味するのだろうか?」この書き出しで始まる日記を残して、親友は突然の事故で死んでしまった…。どの年齢にも無関係ではない死と喪失、それを耐えて生きる、私たちみんなの人生の物語です。

海の日



7月第3月曜日は海の日です。元々は、海の記念日でした。海の記念日は、1876年(明治9年)に明治天皇が東北地方に巡幸した際、「明治丸」で航海し、7月20日に横浜港に入港した歴史に由来するそうです。

海の日に関連する書籍

- 『子どもに伝えたい年中行事・記念日 新訂版』
萌文書林編集部／編 萌文書林
- 『はじめての明治史 東大駒場連続講義』
山口 輝臣／編 筑摩書房
- 『海大図鑑』
倉本圭／監修 藤倉克則／監修 ニュートンプレス

夏の甲子園

全国高等学校野球選手権大会。今年で104回目を迎えます。

大会期間は、2022年8月6日から8月22日。

全国49の高校が出場し、熱闘を繰り広げます。

ちなみに、東京都は東西でそれぞれ1校ずつ出場します。

これは、1974年、東京都の高校の数が増加したことにより導入されました。

今年はどの高校が出場するか、楽しみです!

夏の甲子園にまつわる本をご紹介します

「マウンドの神様」

あさのあつこ／著 他 実業之日本社

「美爆音!ぼくらの青春シンフォニー

-習志野高校吹奏楽部の仲間たち-

オザワ部長／著 岩崎書店

「キャプテン 高校野球編 全2巻」

ちばあきお／原作 山田明／小説 学研プラス